

青少年意見発表会



素晴らしい発表をありがとうございます

1月19日(日)に、市民会館文化ホールにおいて、「第24回青少年意見発表会」が開催されました。中央公民館区の小学校10人、中学校6人の皆さんが日々頃身近な問題として捉えている平和・人権・まちづ

くり・将来の夢や希望等について堂々と自分の思いを発表してくれました。

私も、16人の意見発表から感動と希望を抱かせてもらいました。

本校からは、「桜馬場のまちとユニークサルデ

ザイン」と題して、私が堂々と発表してくれました。
以下、さんの発表内容を掲載します。

皆さんは、ユニークサルデザインについて知っていますか。ユニークサルデ

もっとやさしさをもつてよ

地域をユニークサルデザインで整える

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

は、最近、SST の時間に町にユニークサルデザインを探しに行つたとき、私は桜馬場の町はお年寄りの方が多いな」と感じました。そこで私は、実際に長崎にどれだけお年寄りの方が多いのか調べてみました。すると、人口に占める65歳以上の割合を示す県内の高齢化率は、約34%と、全国で9

歳のまちや桜中は優しくない」と指摘されたからです。

最近、SST の時間に町にユニークサルデザインを探しに行つたとき、私は桜馬場の町はお年寄りの方が多いな」と感じました。そこで私は、実際に長崎にどれだけお年寄りの方が多いのか調べてみました。すると、人口に占める65歳以上の割合を示す県内の高齢化率は、約34%と、全国で9

歳のまちや桜中は優しくない」と指摘されたからです。

こう考えたのは、最近総合的な学習の時間で、ウスピ・サコ先生という、日本国際博覧会協会の副会長で、空間人類学の専門家でもある方に「桜馬

場のまちや桜中は優しくない」と指摘されたからです。

ユニークサルデザインを意識して地域を見たことがありますか。

3学期の抱負

1年2組

いよいよ、今学期で迎える最終学期が始まりました。僕は、次学期に向けて、この学期で頑張りました。

1つ目は勉強です。2年生になれば、今よりも学習内容がより難しくなる

ことがでなければいいと

考えます。そのデザインと

は、高齢者のための、椅子に座っているだけで階段

を移動できるというデザ

インです。私は、誰でも簡

単に利用可能なデザイン

をこの桜馬場に広げてい

くことができればいいと

寄りの気持ちを理解して

いるつもりでも、実際に

はあんまり理解できてい

ないんだな、と改めて実

り工夫がされていません。

ウスピ先生は、空間人

類学の専門家としての視

点から見た桜馬場が優し

くないわけについて話し

てくれました。例えば、桜

馬場の現状をユニークサ

ルデザインの視点で見る

ことが重要だと考えます。

ユニークサルデザインが

使ってほしいと考えています。

そのためには、まず、

ユニークサルデザインが足りませ

ません。桜中では「こんなもの

があつたらしいな」という

「このように、今の桜馬

場、今長崎にはユニークサ

ルデザインが足りませ

ません。桜中では「こんなもの

2つ目は部活動です。始めは、部活動に入部することに積極的になれなかつた自分が、家族の勧めもあり、オーケストラ部に入ることを決めました。先輩方の優しいサポートのおかげで、バイオリンパートという初めての経験を楽しめました。また、定期演奏会や市民音楽祭などの本番を経験する中で、演奏でミスをしてしまったり、周りの先輩方や同級生の上手な演奏を聴いたりして、自分ももっとうまくなりたいと思うようになりました。4月には新1年生が入学し、入学式ではオケ部の演奏があります。そこで、悔いのない演奏ができるように、そして、新1年生がたくさん入部してくれるよう、3学期の部活動を頑張りたい。

2学期に人を傷つけたり、馬鹿にしたりするような言動について、学年で考える機会が何度かありました。3学期は、全員が仲間を大切にし、誰もが安心して過ごせる学年にしていきたい。そして、みんなで自信をもつて、進級できるように頑張り

桜中の未来とともに考えよう 桜中の強みと課題

④平和教育 「平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている」生徒91%、保護者94%、教職員100%

③人権教育 「生徒は言葉を大切にし、互いを認め、励まし合うことができる」生徒95%、保護者89%、教職員100%

⑧安全管理
「生徒の安全に気を配つて
いる」生徒95%、保護者
93%、教職員100%

⑨情報提供
「学校の状況は通信や工
P等で知ることができる」
生徒94%、保護者97%
%、教職員97%

⑩環境整備
「学校は、環境整備に努め
ている」生徒90%、保護
者88%、教職員97%

12月末に行つた学校評価の結果がまとまつたので、報告します。今年度の学校評価の結果を参考にして、子どもたちとつてよりよい教育活動を目指し、新年度の学校教育活動及び学校経営に生かしていきます。(数字は肯定的回答率)

的に充実した学校生活を送つてくれている証であり、私たち教職員にも、大変励みになる結果でした。これらの結果から、生徒保護者・教職員が互いを認め合い、協力し合える温かい雰囲気があることが伺えます。

また、生徒が積極的に学習に取り組み、自己成長を図ろうとしていることや、安全・安心な環境で学びができるていること、学校の情報がいち早くお届けできていることをうれしく思います。

【考 察】
今回のアンケートでは、多くの項目で高い評価をいただき、大変うれしく思います。特に、「学校は明るく楽しい雰囲気である」「生徒は足りないところや失敗もあるけれど、前向きにがんばろうとしている」の項目では、生徒

オケ部 北高と合同コンサート

⑫ 業務の改善
「校務の縮減・効率化等
業務の改善を推進していく」
る「教職員56%

⑬ 学習指導
「生徒は自分に必要な学
習を自覚し、粘り強く、意
欲的に取り組んでいく」
(塾等での学習も含む)
生徒82%、保護者71%
%、教職員74%

⑭ 読書
「生徒は、本を読む」ことが
好きである」生徒73%
保護者50%、教職員74%
7%
⑮ GIGA
「生徒はクロームブックを

【考察】 まず、教職員は、「業務の改善」について、負担が大きいと感じる職員が多くいることがわかりました。昨年度に比べ13%改善しているものの、まだ努力が必要です。

また、生徒の皆さんや保護者の皆様からは、「学習意欲を高めたい」「読書習慣を身につけさせたい」「GIGA端末をもつと有効活用したい」という意見をいただきました。これらの課題を改善するため、改めて課題意識をもつて、次年度につなげ

極的に発信し、「家庭や地域との連携を図っていきたいと考えています。

活用して生徒の学習に取り組む意欲を高めていく。
生徒77%、保護者75%教職員82%

1年生の1月の重点目標

気づき 整える きれいな環境に美しい心が育つ
周りを見て、気づき、すぐ行動しよう